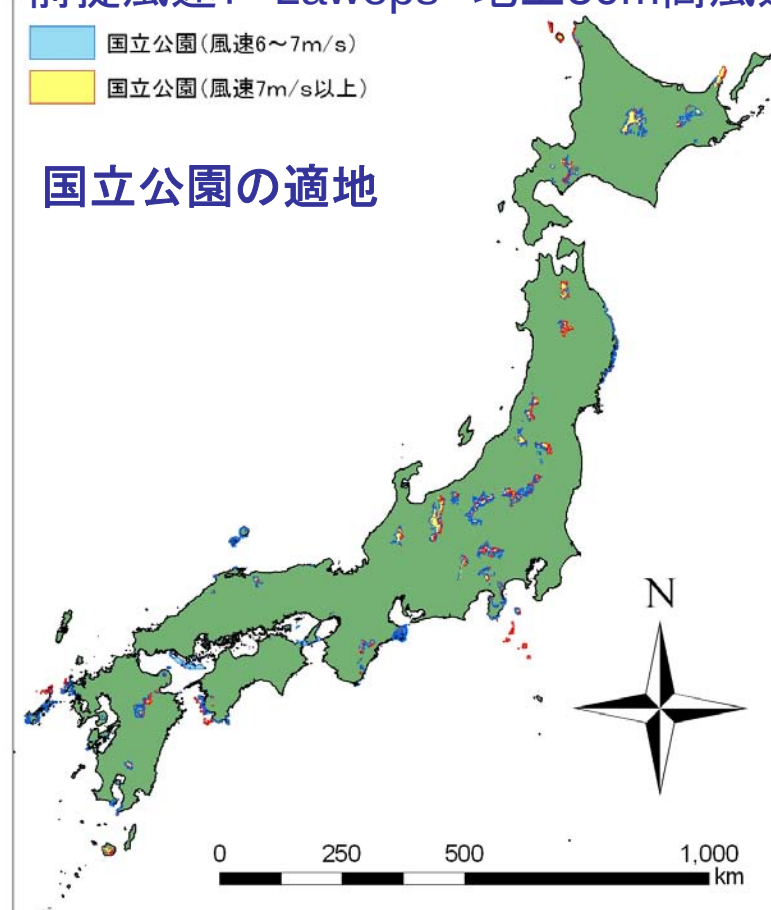


国立・国定公園内には風力発電の賦存適地が存在するのか？

前提風速：Laweps 地上50m高風速を基準に抽出



区分	陸上 [km ²]				
	公園面積	6m/s以上	割合	7m/s以上	割合
特別保護地区	2528.7	2300.9	91 %	1886.3	75 %
特別地域	559.2	460.7	82 %	214.9	38 %
第1種特別地域	2424.7	1710.0	71 %	1164.4	48 %
第2種特別地域	4165.4	2670.7	64 %	1455.6	35 %
第3種特別地域	4700.4	2815.8	60 %	1406.2	30 %
普通地域	6089.7	3338.9	55 %	1310.5	22 %
合計	20468.0	13297.0	65 %	7438.0	36 %



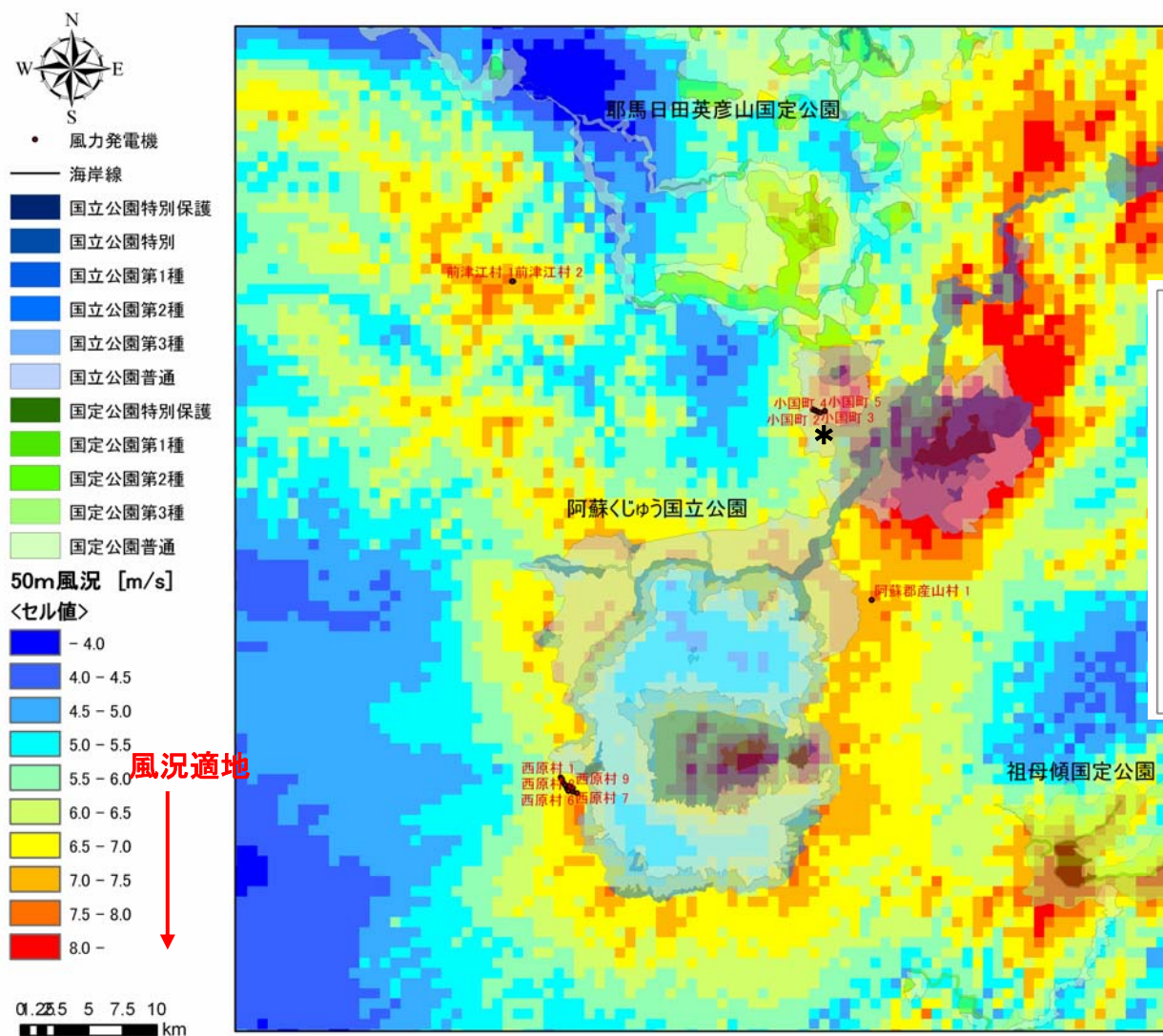
区分	陸上 [km ²]				
	公園面積	6m/s以上	割合	7m/s以上	割合
特別保護地区	661.8	590.5	89 %	480.9	73 %
第1種特別地域	1686.3	1420.8	84 %	1035.5	61 %
第2種特別地域	3581.8	1753.4	49 %	814.4	23 %
第3種特別地域	6327.0	4092.7	65 %	1808.8	29 %
普通地域	1064.7	430.3	40 %	86.7	8 %
合計	13321.6	8287.7	62 %	4226.3	32 %

出典：長井・世良 太陽/風力講演集 2005

国土面積の約36%が年平均風速6m/s以上(50m高) (日本気象協会調べ) 国立国定公園の約60%が風況適地6m/以上

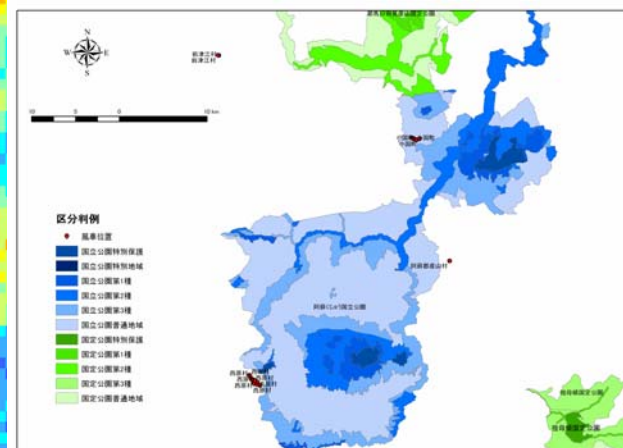
阿蘇くじゅう国立公園周辺平均風速と導入風車例

(自然公園の2, 3種, 普通地域
の活用検討の必要性)



NEDO LAWEPAS50m高風況マップラスタ & 国立・国定公園地域
* 第2回研究会資料4設置例②

国立・国定公園地域(九州)



国立・国定公園に隣接する風況適地への風力発電導入現況

国立・国定公園内の風況良好エリア面積(地域区分別)

国立・国定公園内における風力発電のあり方に関する検討会」

→第2種特別地域、第3種特別地域、普通地域の利用

風況適地： 風力発電機ハブ高風速6m/s以上が目安(わが国) (デンマーク5.5m/s経済的視点)

国立公園 (含む海上)

区分	公園面積	6m/s以上	割合	7m/s以上	割合
特別保護地域	2549.6	2309.6	91 %	1891.8	74 %
特別地域	561.7	463.2	82 %	215.1	38 %
第1種地域	2456.1	1724.0	70 %	1168.3	48 %
第2種地域	4250.5	2702.5	64 %	1461.8	34 %
第3種地域	4718.4	2823.0	60 %	1407.8	30 %
普通地域	18513.9	6526.1	35 %	2356.2	13 %
合計	33050.1	16548.4	50 %	8500.9	26 %

国定公園 (含む海上)

区分	公園面積	6m/s以上	割合	7m/s以上	割合
特別保護地域	671.1	597.8	89 %	485.5	72 %
第1種地域	1718.6	1444.8	84 %	1042.1	61 %
第2種地域	3863.3	1930.4	50 %	822.9	21 %
第3種地域	6349.6	4110.4	65 %	1816.3	29 %
普通地域	5411.1	3447.5	64 %	984.5	18 %
合計	18013.7	11530.9	64 %	5151.3	29 %

特別、第1種地域→高い標高→高平均風速傾向

出典：長井・世良 太陽/風力講演集 2005

合計： 12,051km² + 9,487km² → 21,538 km²

傾斜度、送電線 系統制約、道路など未考慮

住居地、バードストライク懸念地含む

他 立地条件による絞込必要

(第2回資料4の出典数値 1.4%利用仮定)

国立公園、国定公園は保全され、都道府県自然公園は管轄外？

国定公園と自然公園管理は
 都道府県庁同一部署

例 環境生活部自然保護課自然公園管理室

国立国定公園取扱いと都道府県自然公園の取扱い差異の知見や判断基準が不明朗

数県(静岡など)を除き、都道府県自然公園の風力導入基準の公表ない

監督官庁指針の徹底の必要性

従って 例 房総半島では境界の内陸側の
非住居地域で風力導入

・自然公園や保安林で海岸線の風況適地
が開放されない → 山岳地(高風況)進出



出典：千葉県自然公園（県庁刊）